

# 環境商材比率を

## 2030年度には50%へ

### 新ケミカル商事株

化学品、製鉄関連、樹脂、建材、アグリ等の5セグメントを軸に卸売業を展開する新ケミカル商事株。創業時から、製鉄の過程で生成される硫安（窒素肥料）やコークス、化学品などの副産物を中心に環境



商材を多く取り扱う。当社が取り組むSDGsは未利用資源を有効活用するケースが多く、近年では『鉄鋼から農業へ、農業から鉄鋼へ』をテーマに、鉄鋼と農業間で「もみ殻」を通じた循環リサイクルの構築に挑戦している。そのほか、『環境負荷軽減／スラグ付加価値向上』をテーマにした、セメント生産時のCO<sub>2</sub>削減が期待できる「高炉スラグ微粉末」など、セグメントごとにテーマを設け、全社を挙げてSDGsに取り組む同社。社会課題の解決と事業推進の同時達成を目指している。

5月28日～30日に東京ビッグサイトで開催される、環境ビジネスをテーマにした展示会「NEW環境展」に出展予定。環境ビジネスを推進する同社の強みを存分にアピールする。

### 樹脂セグメントで新会社設立、環境商材拡充を

今年の中長期計画「NCT／ムーニンショット計画」の2年目を迎えた。4月に組織再編の一環で「NCTマテリアル株」を設立。グループ会社で樹脂製品製造や溶剤リサイクルなどを展開するNCTフロンティア株とともに、両社のリサイクル技術やノウハウを集約し、再生樹脂や特殊機能樹脂など高まる樹脂製品ニーズに対応する。また、研究開発部門を強化するため「開発本部」も新設。カーボンニュートラルの推進に向けて新商材の開発や産業廃棄物など、未利用資源の有効活用に力を注ぐことで2023年度は30%だった環境商材比率を2030年度には50%を目標に拡充を進めていく。

今年2月には、バイオマスやリサイクル原料などを対象とした国際認証制度「ISCC PLUS」を取得した。化学品事業部の主力製品であるスチレンモノマーと関連のあるエチレン誘導品の販売強化を皮切りに、持続可能な原料を積極的に取り扱い、社会貢献に寄与していく。



© 2025 サイトユウスケ



Now Challenging Transformations

### 新ケミカル商事株式会社

化学品・製鉄関連・樹脂・建材・アグリ

北九州本社：〒802-0002 福岡県北九州市小倉北区京町 3-1-1 セントシティ北九州8F  
 東京本社：〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル8F・11F  
 国内拠点 / 札幌・室蘭・東京・君津・名古屋・東海・大阪・広島・北九州・大分  
 海外拠点 / 上海・香港・台湾・シンガポール

